

INDEX

ことば徒然
言語性を伸ばす指導

ことば徒然

自分を表現する道具は話しことばだけではありません。
書きことばもあります。
身振り手振りの動作で表現することもあります。
顔の表情や視線で表現することもあります。
絵や歌で表現することもあります。
いろんな表現手段をつかい、自分を表現しています。

言語性を伸ばす指導

かたい かき

たかい かき

「カ」の子音は、舌の奥の部分を口蓋舌筋と茎突舌筋で拳上させ、鼻咽腔を閉鎖し、呼気を開放し発音します。

「タ」の子音は、舌尖を上縦舌筋と茎突舌筋で拳上させ、鼻咽腔を閉鎖し、呼気を開放し発音します。

「カ」音と「タ」音は、外舌筋の口蓋舌筋と内舌筋の上縦舌筋の違いで、舌の拳上させる部分がかわってきます。

だから、「カ」行と「タ」行は誤まりやすいのかもしれない。

舌の運動が未熟で「かたい かき」というのが「かかい かき」
となるのかもしれない。

また「たかい かき」というのが「たたい かき」となるのかもしれない。

どのことばにも「し」があります。

「し」の発音練習にいいかも・・・？

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

今年は朝から雨が降りました。

10年目の1.17の日。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.108

ことばのもり 2005.1.12

=====
INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

電車の中で、お母さんに抱っこされた赤ちゃんを見ました。
お母さんがいすに座って抱いていた赤ちゃんも横におろしました。
その赤ちゃんはよく動き、いすに顔をうずめたような形になりました。
お母さんはすこしあわてて、起こしました。
赤ちゃんは笑顔で答えていました。
いつもそばにいてくれる人といっしょだから安心しているんでしょう。

言語性を伸ばす指導

単純な練習ばかりしていると、飽きられてしまう。
だからと言って難しすぎると、嫌がられてしまう。

教材をさがすのは、大変です。
大変だといいいながら、楽しんでるんですが・・・。
今日、ことば遊びのページを見ていて、おもしろいがありました。
発音練習にも使えそうです。
おもしろいので紹介します。

2才からあそぼ！めいろの森

<http://www.din.or.jp/~fuwa/meiro/main.htm>

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

冬ですね。

今年もまたしもやげができました。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.107

ことばのもり 2005.1.5
=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

あけまして おめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。

こ ことは

と とりどし(自分の干支です)。

ば ばたばたとせず、

の のんびりやろうと思います。

も もうちょっと

り りこうになろうと思います。

ことば徒然

「遠くの大きな氷のうえを狼十ずつ大勢通った」
「いきなり何のこと」と思われる方もおられるかもしれません。
読み仮名をふってみてください。
「とうくのおうきなこうりのうえをおうかみとうずつおうぜいとうった」
では誤りです。
お列長音の例外で
「とおくのおおきなこおりのうえをおおかみとおずつおおぜいとおった」
で正解です。

言語性を伸ばす指導

双六に「ふりだし」「あがり」ということばがあります。
「はじめ」と「おわり」
「スタート」と「ゴール」と同じような意味です。
学習のはじめに、オセロの白と黒のこまを一方の色にそろえて並べさせます。
「双六が出来上がり」
と言って、ふりだしにあるオセロのこまをひとつ裏返します。
一つ終わるごとに裏返していきます。
「あがり」までくれば、勉強が終わりです。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

去年一年を漢字にあらわすと「災」だそうです。

台風や地震の被害が多か一年でした。

今年一年は「福」の多い一年となりますように・・・。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.106

ことばのもり 2004.12.29
=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

INDEX

ことば徒然
言語性を伸ばす指導

ことばだよりを発行して、いよいよ3年目に入ります。
これからもよろしく願いいたします。

ことば徒然

スーパーに買い物にきている親子を見ました。
お母さんは、かごをさげて買い物をしています。
お父さんは子どもに
「ぶどう、どれ？」
「みかん、どれ？」
とたずねています。
子どもは問われた物の前まで行って、お父さんの顔を見えています。
このあと、お父さんと子どもは笑顔でやり取りしていました。

お父さんと子どもの中で、かわされた視線や笑顔にはこんな意味があるのでしょうか。
「前、お母さんと食べたとき、言ってたなあ。ぶどうって、これだったかな。」
「ピンポン、正解」
「よかった。甘くて種があるんだよね。つぎは何？」

言語性を伸ばす指導

1年のこくごの教科書に
「きょうは、なん月 なん日 なんよう日です。」
というところがあります。
日付の読み方は学習していますが、ここでもう一度、
「ついたち」「ふつか」「みっか」の読み方を復習します。

INDEX

ことば徒然
言語性を伸ばす指導

ことば徒然

こだわりのある子どもに、一つのことをさせようと大人がこだわってはいけない。

大人が願う一つのことは当たり前なことなんでしょう。

常識的なことなんでしょう。

価値としても高いものなんでしょう。

どの人が聞いても「そうですね」とうなづけるものなんでしょう。

視点を変えることができる子には、有効なことなんでしょう。

視点を変えることができない子には、無効というより、こだわりを強めることになります。

柔軟に対応できないから、大人がその子にあわせて対応することが求められます。

言語性を伸ばす指導

動物の絵カードを見てネーミングします。

「いぬ」「さる」「かば」「ぞう」「にわとり」「しまうま」「ライオン」「はと」「パンダ」等を9枚程度を机に並べていきます。

この中から「あいうえお」のつくのをさがしてと指示します。

子どもも「い」と「う」はさがします。

「ワンワン」「キーキー」「コケッコココー」「ガオー」と言って今のは何かたと聞きませす。

わからなくても「鳴き声」「動物の鳴き声」と教えてあげてください。

犬の鳴き声は「ワンワン」さるの鳴き声は「キーキー」・・・

と子どもに言ってもらいます。

「え」がつくのに気づけば、「あ」も「お」もわかると思います。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

雨が降り続き、風が強い日です。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

=====
ことばだより No.102

ことばのもり 2004.12.1

=====
INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

12月、師走の月です。

師が走る月。

師が走るくらい忙しい月。

いつも落ち着いていた師が、仕事をするのに走り出すくらい忙しい月。

いままで暇そうにしていた師が、やり残した仕事を片付けるために、走り出すくらい忙しい月。

1年のしめくくりです。

とにかく、家でも行事の多い月です。

休みの日に子どもといっしょに家の掃除をするのもいいと思います。

言語性を伸ばす指導

1枚のカードに1から9までの数字とシールを1枚ずつ貼ります。

そのカードを使ってこんなことをしています。

「りんごが1こあります。1こもらいました。みんなでなんこですか。」

と問います。

そして数字の1を指差し、「いち」と読み、シールを指差して「に」と読みます。

みんなで「2(に)こ」と話します。

「りんごが2こあります。1こもらいました。みんなでなんこですか。」

と問います。

そして、数字の2を指差し、「に」と読み、シールを指差して「さん」と読みます。

みんなで「3(さん)こ」と話します。

___/

漂泊鳥から

今日から師走。

時間の過ぎるのが早く感じます。

歳のせいかな・・・。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

___/

=====
ことばだより No.101

ことばのもり 2004.11.24

=====

INDEX

ことば徒然

言語性を伸ばす指導

ことば徒然

お母さんが、子どもと手をつないで園に行かれます。

子どもは少しずつ遅れだします。

手を引っ張られていくようです。
お母さんの歩幅と子どもの歩幅が違うからです。
お母さんは子どもを園に届けた後、何か用事があるのかもしれませんが。
朝からお母さんと子どもの間に何かあったのかもしれませんが。

大人が歩幅を子どもにあわせること、
視線を子どもに合わせることも必要です。
また、子どもが歩幅を大人にあわそうとすること、
飛び上がり、視線を高くすることも大切です。

言語性を伸ばす指導

りんごのシールを1から9枚はったカードと1から10までの数詞を用意します。

「りんごが1こあります。」

「りんごが2こあります。」

といって2枚のりんごカードを出します。

「みんなでなんこですか。」

と話し、2枚のカードのりんごを指差して数えます。

「いち、に、さん」

と数えて、数詞の「3」を子どもに選ばせます。

これをくりかえして、「みんなで」と言うことばのときは、つづけて数唱すればいいことを教えます。

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／

漂泊鳥から

寒さを感じるようになりました。

ことばのもり 管理人 漂泊鳥

＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／＿／